

施工説明書

システム階段 リフォーム上貼りタイプ
品番：MYZJ

※この商品は一般住宅およびそれに準じる
居住施設の屋内専用です。他の用途への
ご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と
接するところには使用しないでください。

- 施工開始前に必ずお読みください。
- 施工される人の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全で正しい施工を行ってください。
- この製品は、建築基準法などの法令・法規に従って施工してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。（施工完了後、使いかたを説明してください。）

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



禁止

施工時に製品仕様を変えるような加工をしない
仕様を変えると、けがをするおそれがあります。
製品仕様を変えるような加工をした場合、
品質保証責任を負いかねます。

ワックスを使用しない
ワックスを使用すると、滑落事故の原因となります。
ワックスを使用する場合は、必ず滑り止め剤入り
木質用ワックスを使用してください。



必ず守る

施工前に既存の構造物が積載過重に耐える構造
であることを確認する（また下地補強を事前
に行っておく）
強度が十分でない転落事故が起こるおそれがあります。

段鼻材は必ず付属のねじで取り付ける
付属のねじを使用しないと段鼻材が正しく取り付け
できないおそれがあります。

すべり止め樹脂は、浮き上がり・めくれ上がりが
ないように取り付ける
転落事故が起きたり、けがをする原因となります。



必ず守る

養生シートは動かないように確実にとめる
転落事故の原因となります。また傷が付くおそれがあります。

接着剤を使用する際は、閉め切った場所で行わず、
十分な換気をする
接着剤の容器などにある注意表示に従い、正しく
使用してください。

階段事故防止のため、建築基準法に基づいた
寸法を必ず確保する
確保しないと転倒事故の原因となります。

仮釘は、接着剤硬化後（夏期：約1日 冬期：約2日）
に必ず抜く

仮釘が残っていると、けがをするおそれがあります。

接着剤が硬化するまで（夏期：約1日 冬期：約2日）
階段の昇降には十分注意する
仮釘などの突起物につまずき、転落事故が起こる
おそれがあります。

施工後は必ず確実にに取り付いたことを確認する
確認しないと事故の原因となります。

施工前の注意

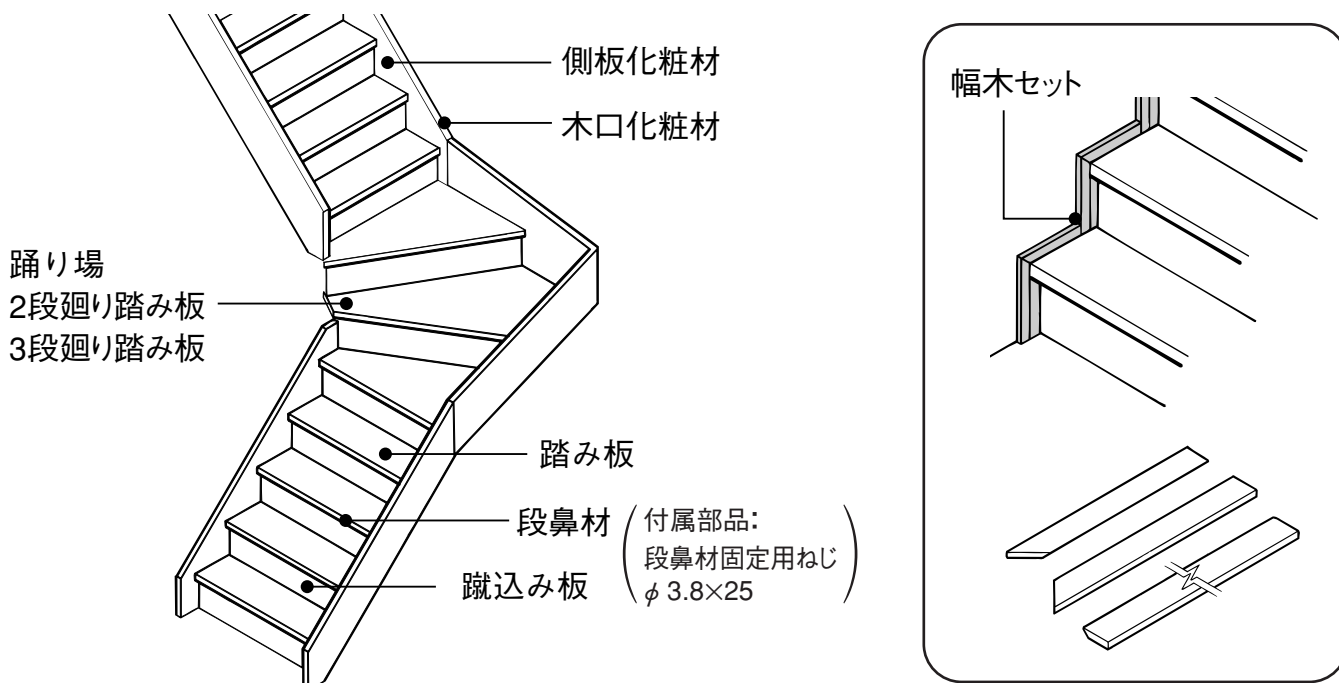
- 開梱後、製品に損傷がないことを確認してください。
取り付け後の損傷に関しましては責任を負いかねます。
- 製品は湿気や直射日光の当たる場所を避け、水平な
場所に保管してください。
反り、ねじれの原因となります。
- 施工前に必ず既存の階段（踏み鳴りの有無）の状態を
確認してください。
リフォーム後も踏み鳴りが発生するおそれがあります。
踏み鳴りが発生する場合は、補修してから施工を行ってください。

- 製品は既存の踏み板の厚みが36mm以下の対応です。
- 接着剤が付着した場合は、すぐにふき取ってください。
接着剤は硬化すると取れなくなります。
- 接着剤は必ず専用のウレタン接着剤（MLE050U）を
ご使用ください。（木口化粧材のみ水性ゴム系接着剤を使用）
表面のふくれ、接着不良によるはがれなどの原因となります。
- シンナー・ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。
表面のつやが変わったり、変色するおそれがあります。

ラ-43P 第7版 1204

各部のなまえ

[寸法単位：mm]



現場調達品

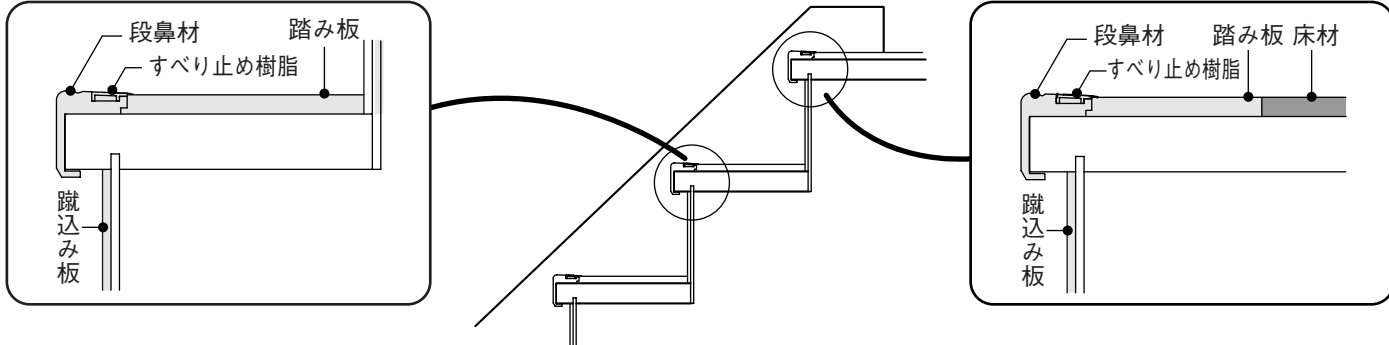
※品番の□は色を示す
記号が入ります。

- ・仮釘
- ・下地材
- ・養生シート
- ・フロア用養生テープ

- ・フィニッシュネイル
- ・目地用コーキング（MT8□）
- ・クレヨンパテ（QP823□）
- ・専用ウレタン接着剤（MLE050U）

- ・水性ゴム系接着剤
（※VOC対策品をご使用ください）

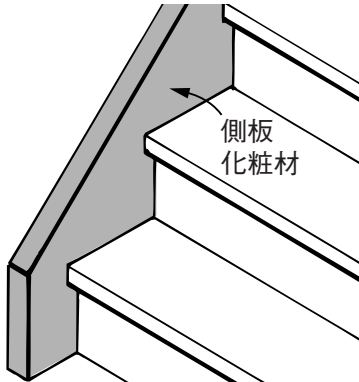
納まり



■施工方法には、側面の納めかたによって側板化粧材を使う場合と幅木を使う場合
があります。

A. 側板化粧材を使う場合

小さなすき間はシーリング剤を充てんします。

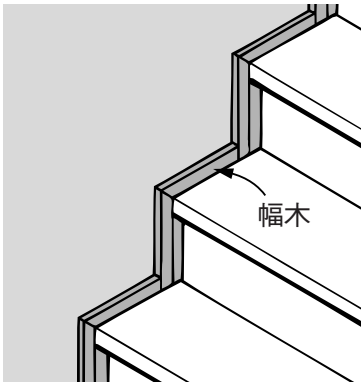


施工手順

- 既存階段の下地処理
- 側板化粧材の取り付け
- 木口化粧材の取り付け
- 蹴込み板の取り付け
- 踏み板の取り付け
- 段鼻材の取り付け
- 上框部分の仕上げ
- 床材の重ね貼り

B. 幅木を使う場合

踏み板・蹴込み板と壁とのすき間を幅木で隠します。



施工手順

- 既存階段の下地処理
- 蹴込み板の取り付け
- 踏み板の取り付け
- 幅木の取り付け
- 段鼻材の取り付け
- 上框部分の仕上げ
- 床材の重ね貼り

—2—

施工前の確認

※施工前に必ず下記のことを確認してください。

[寸法単位：mm]

1 階段有効幅の確認

階段有効幅寸法

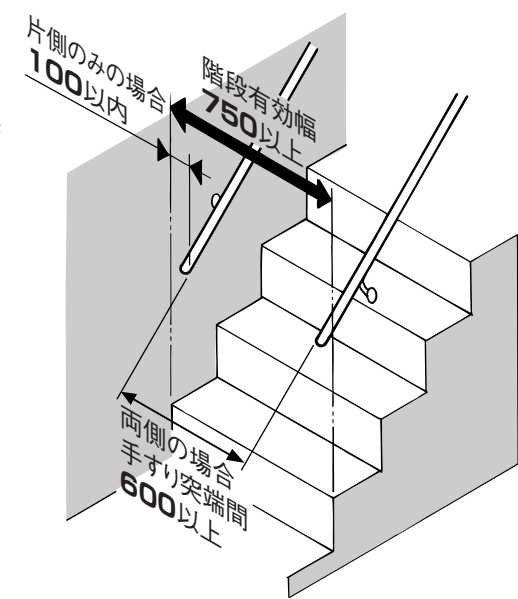
階段有効幅は建築基準法に
基づき、750mm以上確保
してください。

〈手すりがない片側の場合〉

手すりの突出する部分が
壁面仕上げ面から100mm
以内であれば、階段有効幅の
750mmに算入することが
できます。

〈手すりが両側の場合〉

手すりの突端間が600mm以
上あることが必要です。



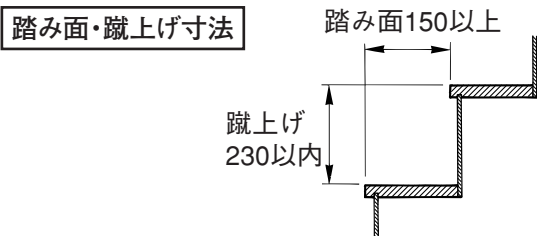
警告



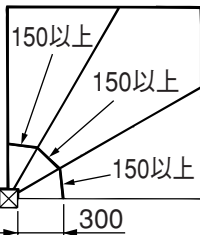
必ず守る

階段事故防止のため、建築基準法に
基づいた寸法を必ず確保する
確保しないと転倒事故の原因と
なります。

踏み面・蹴上げ寸法



※廻り階段を使われる
場合は、90°で3段割り
以内にしてください。

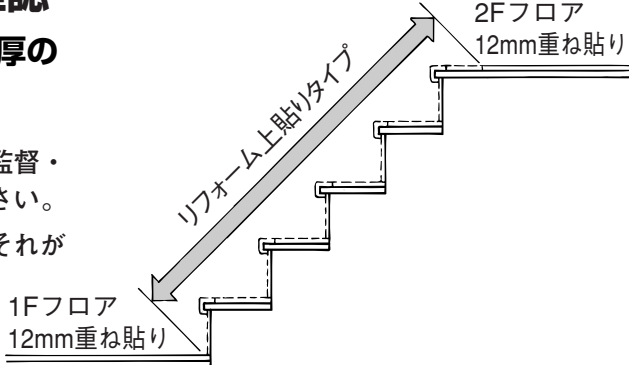


2 リフォーム上貼りタイプの納まりの確認

本リフォーム上貼りタイプは、各階のフロアに12mm厚の
床材を重ね貼りすることを前提としています。

注意

- 住宅（建築物）との兼ね合いがありますので、現場監督・
建築士様などにご相談のうえ、仕様を決定してください。
- 既存の階段への固定が不十分な場合、踏み鳴りのおそれ
があります。ご注意ください。



施工のしかた

[寸法単位：mm]

■既存階段の下地処理

1. 幅木、カーペットなどを取り外す。
2. 既存階段の表面をサンダー・カンナなどで削り、ワックスや油分や塗膜
などを取り除き、不陸を押さえ平滑にする。

注意

表面の汚れなどは必ず取り除いてください。
表面に汚れなどが残っていると、接着不良の原因になります。

3. フロアと上框に段差がある場合には、サンダー・カンナなどで
削り、段差をなくす。

注意

RCや鉄骨などの木下地がない階段には取り付け
できません。合版などですて貼りをしてください。

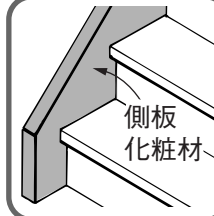
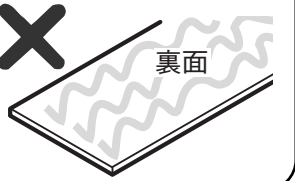
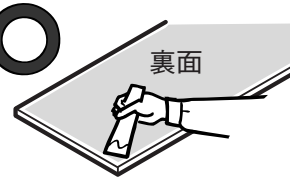
接着剤の塗布のしかた

※必ず専用のウレタン接着剤（MLE050U）を使用してください。

接着剤はヘラで全面に塗り広げてください。

注意

- 当て木をした場合は、接着剤の硬化後、当て木を
外してください。
- 釘穴はクレヨンパテ（QP823□）で穴埋めしてください。
- 接着剤がはみ出した場合は、すぐにふき取ってください。



A. 側板化粧材を使う場合

小さなすき間はシーリング剤を充てんします。

※下記の施工の前に、必ず既存階段の下地処理を行ってください。（3ページ参照）

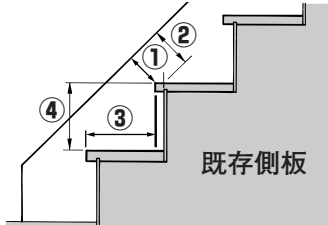
1 側板化粧材の取り付け

注意

- 側板化粧材を取り扱う際は、折れないように注意してください。
- 側板化粧材は1枚より2丁取りしますので、寸法採りには十分注意してください。

1. 既存側板の寸法測定

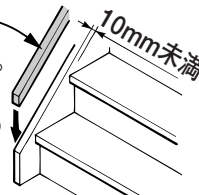
図の①～④の寸法を測定する。



①の寸法が10mm未満の場合

下地材（現場調達）を
既存側板に取り付ける。

取り付ける



2. 側板化粧材（側板右用）のカット

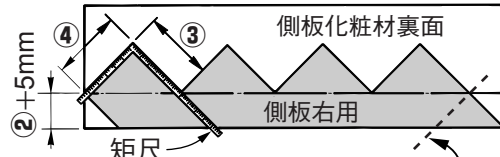
側板化粧材裏面に寸法採りを行い、化粧面の形状に合わせ

てカッターで現場カットする。

※側板化粧材は3～4段の長さでカットしてください。

（図は4段の場合）貼りずれを少なくできます。

※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれが
ないか確認してください。



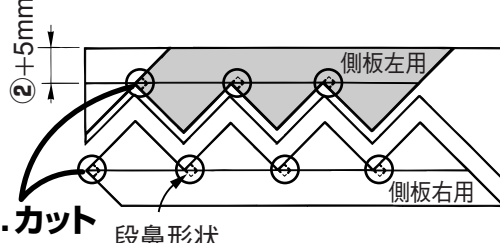
※1段目は既存階段に
合わせてカットする

3. 側板化粧材（側板左用）のカット

2.でカットした側板化粧材を裏返して使用し、カットする。

側板化粧材1枚から右用4段分・左用3段分をカットし、
2枚目から右用3段分・左用4段分をカットしてください。

※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれが
ないか確認してください。



段鼻形状

4. 側板化粧材（段鼻部）のカット

2. 3.でカットした側板化粧材の段鼻部をカットする。

※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれが
ないか確認してください。

5. 納まりの確認

仮置きで納まりの確認をする。

※右図のように納まります。

段差・すき間などが発生した場合は、クレヨンパテ
（QP823□）で埋めてください。



6. 側板化粧材の取り付け

側板化粧材の裏面全体に専用ウレタン接着剤（MLE050U）を

塗布し、当て木・仮釘を併用して既存側板に取り付ける。
接着剤が硬化するまで（夏期：約1日 冬期：約2日）養生する。

注意

浮きがないように側板化粧材を取り付けてください。



警告



必ず守る

仮釘は、接着剤硬化後
夏期：約1日
冬期：約2日
に必ず抜く
仮釘が残っていると、けがを
するおそれがあります。

上側

当て木に仮釘を150mm
ピッチで固定する。



下側

蹴込み板・踏み板で
隠れる位置に仮釘を
固定する。

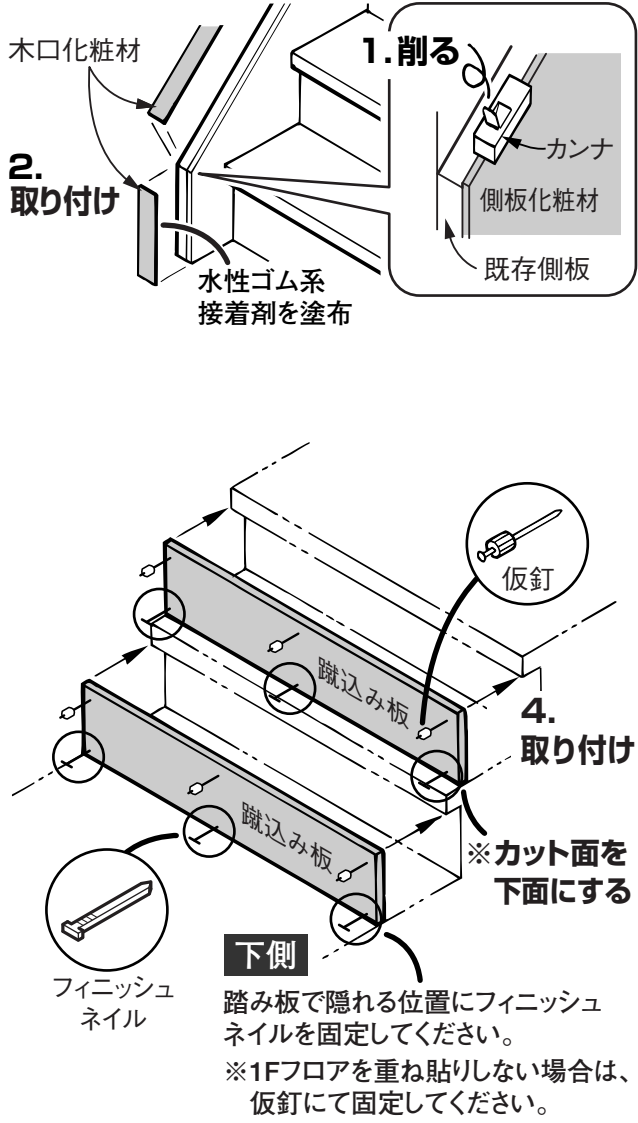


2 木口化粧材の取り付け

1. 既存側板よりはみ出した側板化粧材をカンナで削る。
2. 側板上面・側面に木口化粧材を水性ゴム系接着剤（※VOC対策品をご使用ください）で接着する。

3 蹴込み板の取り付け

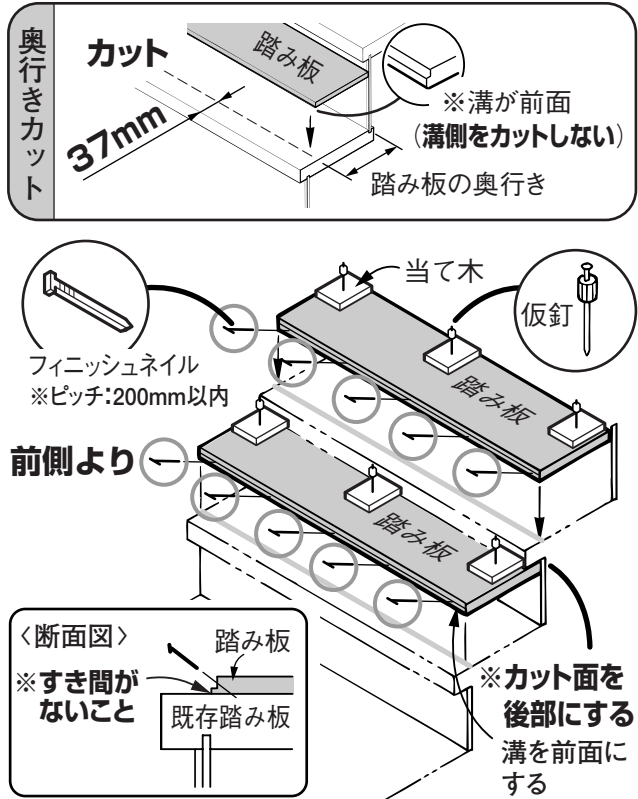
1. 幅カット
側板化粧材の内々寸法（側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法）に合わせて、蹴込み板**左側**をカットする。
※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれがないか確認してください。
2. 高さカット
既存の蹴込み板に合わせて、蹴込み板**下側**をカットする。
注意 既存の階段の高寸法は、各段によって多少の違いがある場合があります。一段一段寸法を測ってカットしてください。
※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれがないか確認してください。
3. 納まりの確認
仮置きで納まりの確認をする。
注意 無理に押し込むと、取れなくなるおそれがありますので十分ご注意ください。
4. 取り付け
蹴込み板裏面全体に専用ウレタン接着剤（MLE050U）を塗布し、仮釘・フィニッシュネイルを併用して取り付けける。



4 踏み板の取り付け

ここでは上框部分に踏み板を取り付けないでください。

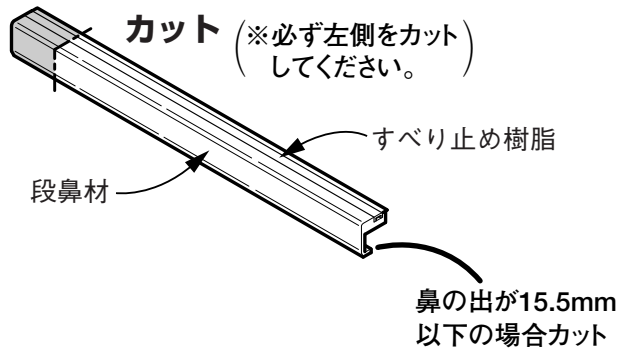
1. 幅カット
側板化粧材の内々寸法（側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法）に合わせて、踏み板**左側**をカットする。
※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれがないか確認してください。
2. 奥行きカット
既存踏み板前木端より37mmのところに墨出しする。墨出した寸法に合わせて、踏み板**後部**に**側（溝のない側）**をカットする。
※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれがないか確認してください。
3. 納まりの確認
仮置きで納まりの確認をする。
4. 接着
踏み板裏面全体に専用ウレタン接着剤（MLE050U）を塗布し、当て木・仮釘・フィニッシュネイルを併用して取り付けける。
※フィニッシュネイルは斜め45度に200mm以内（端から550 mm以内）のピッチで打ち込んでください。
注意 踏み板取り付け後、側板化粧材（ない場合は壁）や蹴込み板とのすき間の部分は目地用コーキングを使用してください。



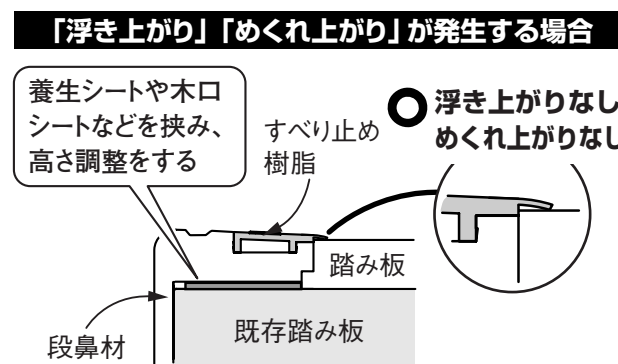
—5—

5 段鼻材の取り付け

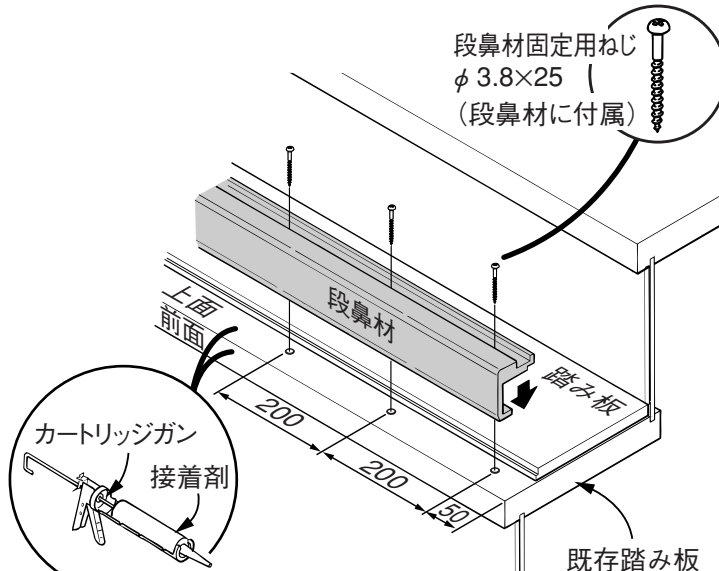
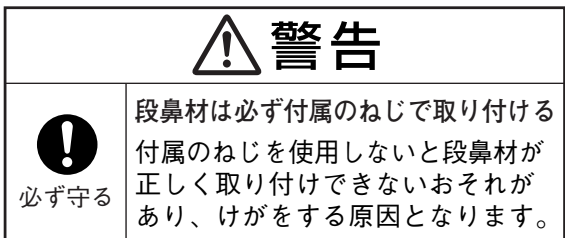
1. カット
段鼻材・すべり止め樹脂
側板化粧材・幅木の内々寸法（側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法）に合わせて、段鼻材とすべり止め樹脂を重ねて**一緒に左側をカット**する。
※既存の階段の鼻の出が15.5mm以下の場合、段鼻の巻き返し部分をカットして、鼻の出を調整してください。



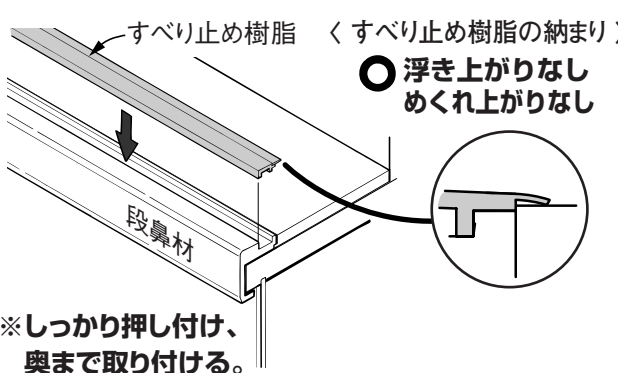
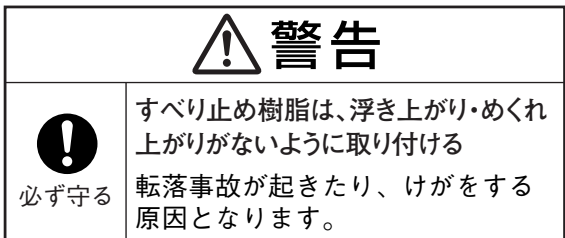
2. 納まりの確認
仮置きで納まりの確認をする。
注意 すべり止め樹脂の「浮き上がり」「めくれ上がり」が発生しないことを確認してください。
※浮き上がり
※めくれ上がり



3. 段鼻材の取り付け
既存踏み板の上面・前面に専用ウレタン接着剤（MLE050U）を塗布し、段鼻材を取り付け、ねじ穴に合わせてねじ（付属）で固定する。
注意 ●ねじの固定は、段鼻材をしっかり押さえ、すき間のないように行ってください。



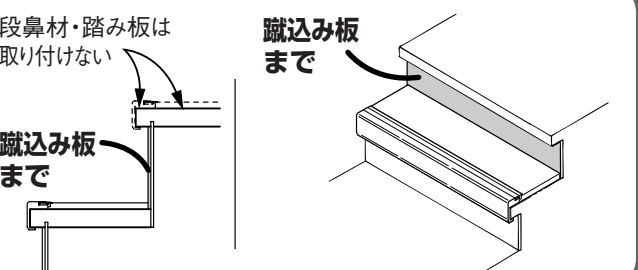
4. すべり止め樹脂の取り付け



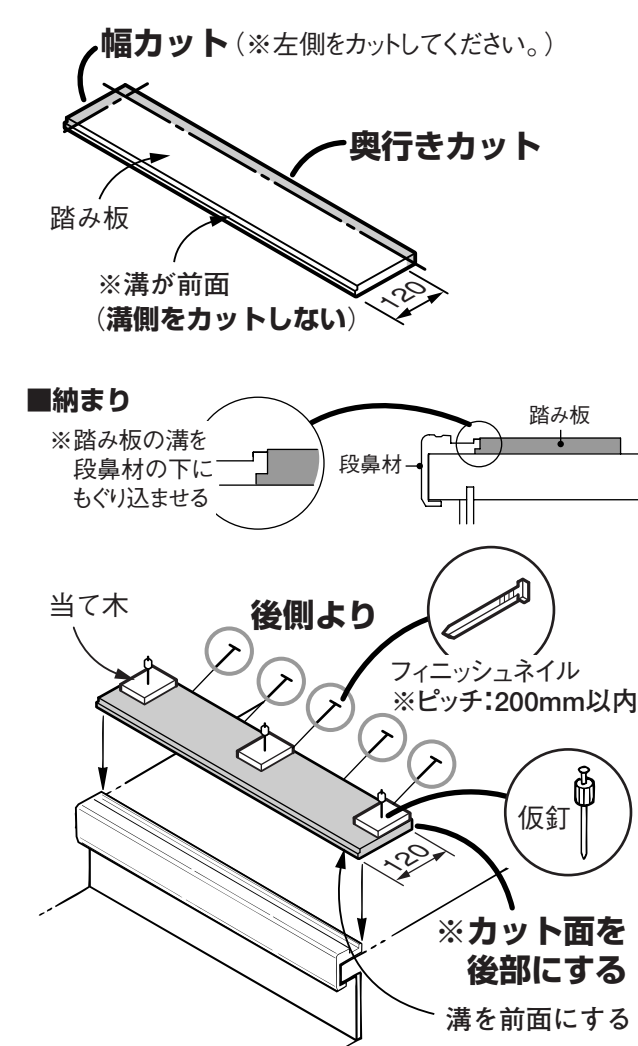
—6—

6 上框部分の仕上げ

※2階フロアの床材の重ね貼りをしない場合は、上框部分の段鼻材・踏み板は取り付けないでください。（蹴込み板までの重ね貼りします。）

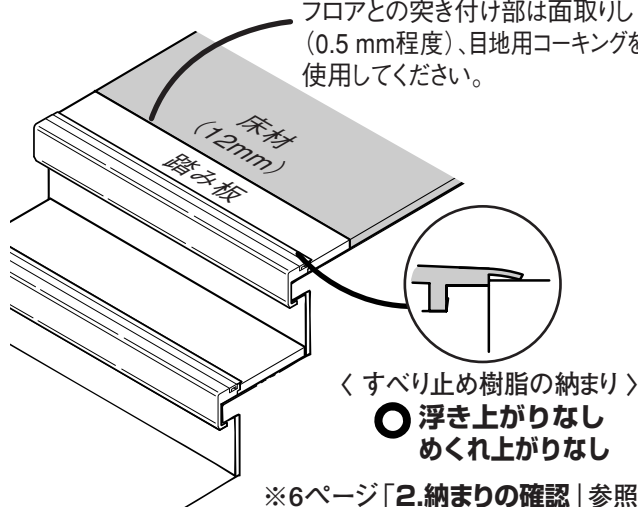
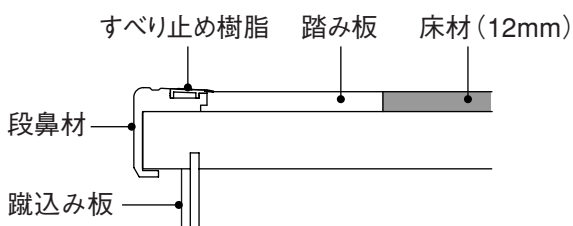


1. カット
側板化粧材の内々寸法（側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法）に合わせて、踏み板および段鼻材・すべり止め樹脂をカットする。
踏み板 幅：5ページ参照
奥行き：約120mmにする。
段鼻材・すべり止め樹脂 6ページ参照
※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれがないか確認してください。
2. 納まりの確認
仮置きで納まりの確認をする。
3. 段鼻材の取り付け
6ページ参照
※ここでは段鼻材にすべり止め樹脂を取り付けないでください。
4. 踏み板の取り付け
接着
踏み板裏面全体に専用ウレタン接着剤（MLE050U）を塗布し、当て木・仮釘・フィニッシュネイルを併用して取り付けける。
※フィニッシュネイルは斜め45度に200mm以内のピッチで打ち込んでください。
5. すべり止め樹脂の取り付け
6ページ参照



7 床材の重ね貼り

階段部分を全て貼り上げた後、上下階フロアに12mmの床材を重ね貼りする。



—7—

B. 幅木を使う場合

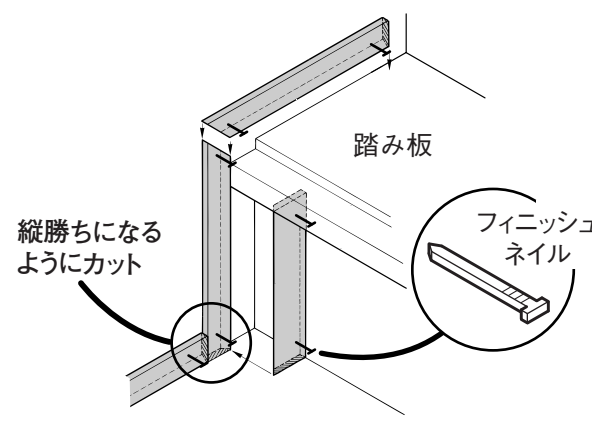
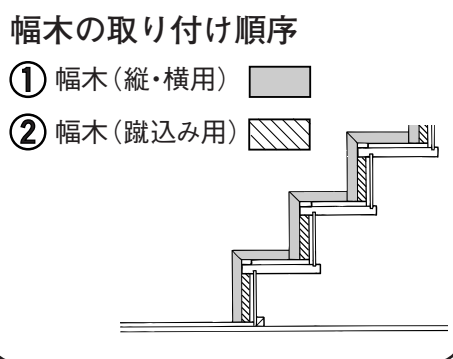
踏み板・蹴込み板と壁とのすき間を幅木で隠します。

※下記の施工の前に、必ず既存階段の下地処理を行ってください。（3ページ参照）

- 1 蹴込み板の取り付け 5ページ参照
- 2 踏み板の取り付け 5ページ参照

3 幅木の取り付け

1. 幅木（縦・横用）のカット
幅木の高さ・長さを既存階段の蹴上げ・踏み面に合わせてカットする。
※縦勝ちの納まりになるようにカットしてください。
2. 幅木（蹴込み用）のカット
幅木を鼻の出の下部の形状に合わせてカットする。
3. 納まりの確認
仮置きで納まりの確認をする。
4. 接着
幅木裏面に専用ウレタン接着剤（MLE050U）を塗布し、フィニッシュネイルを併用して取り付けける。
- 4 段鼻材の取り付け 6ページ参照
- 5 上框部分の仕上げ 7ページ参照
- 6 床材の重ね貼り 7ページ参照



施工の仕上げ

- 注意** 養生する際はフロア用養生テープを使用してください。
ガムテープなどの粘着力の強いものは使用しないでください。
- 養生をする前に必ず木くずやごみを取り除いてください。
 - 仮釘の穴などはクレヨンパテ（QP823□）で穴埋めし、表面にはみ出しているものはふき取ってください。
 - すき間がある部分には目地用コーキングを使用してください。

施工後のお手入れと確認

- 施工後のお手入れ 施工完了後は、接着剤の硬化（夏期：約1日 冬期：約2日）を待って、当て木を取り外してください。
- 施工後の確認（下記の表に従い、施工の仕上がりをチェックしてください。）

チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
接着剤が付着していませんか？		各部材が躯体に確実に固定されていますか？（がたつきなどありませんか？）	
仮釘はすべて抜きましたか？			

※内装工事が続いて実施されるときは、梱包材などで製品の養生を行ってください。
※梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
※引き渡しの際は、養生を取り外し、乾いた布でふいて仕上がりを再度確認してください。

パナソニック株式会社 内装システムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Corporation 2012

D1008-4042